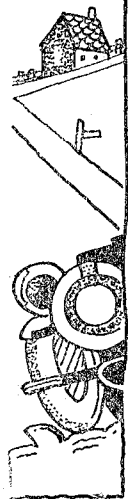


通信



# 第七回國際道路會議通信

— ミュンヘン —

宮崎正夫

九月一日、早朝ミュンヘンの中央停車場に着くと、改札口の上方に「第七回萬國道路會議」と記された大きな幕が張り渡されて居るのを見た。驛構内に出張して居る係員から宿舍を聞いて旅装を解き、テクニツシエ、ホーホ・シユールに設けられて居る。コングレツス、ピウロウ、に出掛ける。今回の會議への出席者總數二千名餘、代表派遣國數約五十箇國、地球上の各人種の見本を一堂に集約し得た譯である。此雜然たる繁圍氣の中で、國情の相異から来る種々の疑問を尋ね、あちこちと引き廻されて兎に角會議參加の手續を済ませた。

三日、午後二時より舊バイエルン王宮で開會式が舉行される。帝王の間と稱へる華麗な大廣間を埋め盡した會員の最前列に、日本代表として、三輪、本間、兩君と共に着席した。私は道路會議のくどくしい記述を避けて此開會式當日、國務大臣ヘツス氏（ヒットラー總理の懐刀にてナチの副總理と呼ばれて居る）の力強い演説の内容を掲げて現在獨逸の國情と道路とが、如何に關聯する處大なるかを紹介致し度い。儀禮的に行はれ易い此種の式場に於ける挨拶として吾人の豫想せざる長廣舌であり、多分に國際會議を利用してナチ一流の宣傳を試みんとする意圖のある事は明

瞭であるとしても、説き來り、説き去る其内容を精細に検討するならば、危機に直面して居る全獨逸を双肩に擔ふ統率者の氣魄と信念の強きに打たれざるを得ない。

ヘッス氏の演説は冒頭、獨逸政府及國民を代表して參加五十國代表者並に會員に對する深甚なる歡迎の辭を述べ、路會議が過去に於て殘したる功績を讃へ、今年恰も創立二十五年に際會して第七回の國際會議を獨逸國內ミュンヘンに於て開催され度いと言ふ獨逸代表の提言を容れて今日茲に開會を見るに至つた事に感謝の意を表して居る。以下ヘッス氏の語調に従つて内容を綴つて見よう。

本會議が此地に於て開催せらるゝ様に決定したのは、我國家社會主義が獨逸の主權を把握する遙か以前であつた。

而して我ナショナル、ソーシャル、レボリユーション（特に革命の字を用ひて居る）の第二年に當り各國の練達堪能の士を網羅した本會議の劈頭に於て我獨逸國の新しき施設を紹介し得る機會を得た事を悦ぶ。諸君の見聞により現在の獨逸を正しく觀察し、各國の主宰者に正確なる意識を興

ふる事と信ずる。更に我獨逸國內に於て開催された此會議により、技術の進歩に於て世界に冠たりと稱せらるゝ獨逸が最近如何なる工作を爲しつゝあるか、特に諸君の興味を持つ問題に就て御紹介を致し度い。我等が御覽に入れようとする此工作は、世界に於ける最新機軸たる事を自ら信じて疑はない。然も其事業の各段階を見せ得る事は諸君に興味深い事と思ふ。獨逸政府及國民全部の希望として、外國より來會せられた諸君は充分其専門方面を觀察研究せられると共に、新設獨逸國其ものに就て觀察せられん事を希ふ。而して我等會議の主催者として斯くの如き觀察を遂げらるゝ上に、能ふ限りの便宜を計り諸君の獨逸國內滞在を出来る丈け愉快なものにする氣持である事は申上げる迄もない。

我々は諸君が機會を得て勞働キャンプ及農耕中心地を見て頂き度いと思つて居る。「歡喜に溢れつゝ努力へ」の組織を知り且は開墾事業、河川改修及排水事業等を見られるであらう。又經濟復興に對する我等の努力を見られん事を御獎めする。巷を歩む人々に注意して其表情を觀察せられ度

い。國家社會主義が實權を得る前後を比較せらるゝならば著しい變化に氣付かれるであらう。凄慘な、絶望的な顔色は消えて、平靜な、自信ありげな表情を認めらるゝであらう。猶獨逸人の會合する多數の席では、各階級差別が撤廢せられ、渾然と一體になつて居る事を見らるゝであらう。

私は諸君の興味ある専門事項と懸け離れて迄觀察をして頂き度いと申上げる積りはない其は自畫自讃に墮するだらうから。然し敢て申上げ度い所以は我々の仕事は自國民への爲すべき努めと信ずるのみならず、全世界に對しても、或は獨逸同様に經濟困難、特に失業問題と其の憂慮すべき結果に當面せらるゝ國ありとせば、解決の一案を示し得ると信ずるからである。而して私は他の國が、我等の失業問題と闘ひつゝある事實の正當なるを容認し、其の結果の成功せるを認めらるゝとしても、獨逸と國情を異にして、同様の方法を模倣する事は不可能である事をつけ加へ度い。

諸君、私は政治演説を試みんとする者ではない。我々の關心を持つ方面への成功の必須條件たる事實を語るに過ぎ

ない。私は新らしき政策及主腦者の宣傳を試みんとする意志は毛頭ない。更に各國代表諸賢に干渉しやうと云ふ考へも持たない。唯新興獨逸國の經濟問題の一項目として、道路事業及其の必要性を研究すべき場合に觀過し得ざる事實を述べて居るのである。

世界各國は我國家社會主義を好意の眼を以て見て居るかどうか……只各國並に今日茲に來會せられた諸君の認めらるべき一事を述べ度い。全世界が今日當面せる經濟難と、是に備へる方策として、我等の新政策による施設が成功を見つゝある結果は、學ぶべき事こそ多く排斥すべき何者もない事を觀取せらるゝ事と信ずる。

我々が懷くと同様の一貫せる主義を抱持せらるゝ他の國に於ては結果は同様である。伊太利は御承知の如く、獨逸と同様極めて短時日にファツシズムにより重要な成功を見、殊に素晴らしい道路組織を創造した。諸君！ 世界各國共に承知せらるゝ如く、我々は新設道路は政治上より考慮して居る。而して我々は所謂、デ、モク、ラ、シ、の代りに責任

者、を設け、是に各方面の専門家を配屬せしめ、以て速斷決行に便ならしめ、議會の冗長な討論により遮けらるゝ事なき様に改めた。是こそ一旦最善と認められた事項を實現せしむる最短徑である。斯くの如き方法に依つたればこそ、我等の首領、ヒットラーが政權を得てより驚嘆すべき短時日に、自動車専用道路の工事が開始せられたのである。獨逸に於ける自動車専用道路は全く彼ヒットラーの獨創案に依り大規模に、迅速に、創業を見たのである。我等の總理ヒットラーは其の直接指揮の下に道路のインスペクター、ゼネラル、トッド博士に全權を委ねられた。トッド博士は申す迄も無く今日第七回萬國道路會議の主人役であり且獨逸代表である。是が故に何等官僚的の干渉もなく、獨創案の實現に對する何等の障碍も起り得ない。

國家帝國主義觀念——外國に於てともすると意識し乍ら故意に、或は無意識に、現在我國家社會主義と混同され易い處の——見地より觀れば、獨逸が自分の行ひつゝある實例を掲げて、殊更諸君の視察に便宜を御與へする様な積

極的好意は持ち合せない筈である。けれども我々獨逸人は國家帝國主義を鼓吹せられて居らぬ。いや更に高尚な思想を植えつけられて居る。經濟的に言へば世界は互に輔ふ合ふ國民單位の有機的組織であつて、此の機能の一角に缺陷が生ずれば、他の部分に影響する事は見易い道理である。換言すれば一國に於ける失業問題及其の貧窮の生む結果は他國に影響を及ぼさずにする筈はない。

世界大戰後結ばれた各種條約、國際協定等は是等の事情を無視して行はれた、是が爲め現在世界各國の到達した事實は雄辯に前述の眞理を物語つて居る。我々は反動を豫想し得る。かるが故に我々は經驗に基き我々の仕事の豫見せらるゝ結果が他の國々に、果實を結ぶ事を希望する。更に我々は力の及ぶ限り、共同努力により、現在全世界の嘗めつゝある經濟上の苦汁を脱却せん爲め我等相互に智識經驗を交換するに最善の便宜をはかるに吝さかなものでない。

獨逸の道路築造は二大目的を有して居る。第一に近代交通の要求は技術の發達に伴ひ、道路を維持の最適狀態に設

備する事であり、第二に失業問題に備へる勞働者使用の二項目であつて是獨逸道路築造の標幟である。交通上より見たる要求と、道路が風景に及ぼす影響及風景が通行者に與ふる影響を考慮に入れたる美的感念は共に新設道路の選定に重大なる鍵となつて居る。道路の技術上の構造並に技術上の性質は、現在に於ける經濟上の必要及交通の要求を考慮に入れ將來の發展を見込んで決定した。交通の中心は道路上を運搬される貨物の量によりてのみ結びつけられず、同時に旅客運輸を考慮に入れ、其の相互の知識及諒解等精神上の連絡をも併せ考へたのである。

新道路の計畫は、過去數世紀に渡り企てられた獨逸の政治的結束を強固ならしむる努力と關聯して居る、此の政治的結束こそ我ナショナル・ソシヤリズムによりて成し遂げられたのである。將に出現せんとする道路網は、交通運輸の發展及獨逸國の、一致團結と言ふ二つの大眼目を満足せしめ得る。此の意味に於ける獨逸の結束に就ては嘗て二人の愛國者が實現に奔命したのであつたが、其の時代の人々

に容れられなかつた。即ち、フリードリッヒリユエーデルは一七七九年に國內道路網を、フリードリッヒリストは十九世紀の前半に鐵道交通網を、計畫したのであつた。此の兩名共其の當時、我々が現在實行しつゝある案を實現せんと企てたのであつた。正しく計畫された道路は丈夫なバンドの様に、全國民と、天惠豊かなる各地方を、離れ難い産業上の結束に導くであらう。我等の考へは道路は單に物質的と實際的の價値あるに止まらず、獨逸の技術、科學、經濟の發展の標尺であると信ずる。加之將來の時代が我々を批評する政治的並に歴史的の文獻として残るであらう。

今日猶獨逸に残る羅馬道路は強い個性と創造の才を持つた偉大なる國民の業蹟を永劫に語る沈黙せる證人である。我等の總理が計畫した道路築造の大綱を語るならば一九三三年九月二十三日着手以來直接道路工事に従ふ十五萬人の勞働者及工場勞働者二十萬人に賃銀とパンを與へたのである。一九三四年末迄には直接間接道路事業に従事する者二十五萬人に上り、更に十五萬人は從來道路の改良方面に

就業し得るであらう。斯くして準備された就業者の數は將來六、七年間は同様な状態で持續されるであらう。

獨逸政府は此事業の爲年額七億乃至八億、マークの豫算を支出する覺悟を持つて居る。

鎗技術上の數字を示して見度い。工事の完成迄には

土 工 二六〇、〇〇〇、〇〇〇立米

コンクリート 四、五〇〇、〇〇〇立米

鋼 鐵 五〇〇、〇〇〇噸

是等の道路を美的方面より眺むるならば、獨逸國民の教養の水準線と一致させねばならぬ。此點に於て吾人は實質的目的を單純に象徴化するを以て現代の精神に適合すると信じて居る。

我々は債務を帯び乍ら、其返済を行はずに自動車道路の如き巨額の費用を要する企業に投資する事を屢々他國より非難される。乍然、私の觀る處は、獨逸に於ける失業救済の對策は、對外債務の問題と結びつけて考へるべき筋合でない、と信ずる、何となれば——若し獨逸の數百萬の失業者

に業を與へなかつたならば——賃銀とパンを與へなかつたならば——無爲にして消え去る勞力は經濟的に云へば生産を伴はぬ消費となつてしまふ。而して世界何れの國に於てか同胞の餓死せんとするを拱手傍觀し得るものぞ、我々は失業者を絶無ならしめんとする事は困難と思ふて居るが、不可能事でない事を信ずる者である。我等が政權を得たる當初數百萬の國民は怠惰に放任せられて居り、一面道路築造に要する總ての材料は國內に死藏せられて居るのを知つた。此に於てか人と材料を活用させる事に努めるのは何人が見ても考へ易い道理ではないか。要は活用する組織の問題のみである。然り現存せる勞力及材料を價值に代へ然して其以上の價值を生み出すとする方法である。我自動車道路は速刻ピツタリと此目的に適ひ、然も更に新らしき價値を創造し、是に促がされて更に進んだ事業が起興されるであらう。我々が此勞力と手近に得られる材料に依つて對外債務を返済する事が出来るかの様に信ずる者ありとせば是根本的の謬見である。一國が借金を返すのは貿易による

か、現金によるか、商品によるの他に途がない。我々は現在國際的に無價値な形式でのみ貨幣を交換し得る。即外國との貨幣交換は唯商品を外國に賣る事に依つてのみ可能である。然し乍ら諸君は、獨逸商品の外國への販路が著しく極限されて居る事を御承知であらう。斯様になつたのは我々の過失でなく、我々の意思に反せる事實なのである。我々の政治組織に對する政治的の考慮及反感は——一時的である事を願ふのであるが——寧ろ經濟的事情に基因すると稱するが正しい觀方であらう。債權國は時に商品による債務支拂を拒絶したのである是は其國のより以上の失業者の増加を恐れたからである事は疑ひない。我々は既に我々の交換價値ある國の富を手離した。其他の國々も我國と品物の交換を制限する爲債務辨償の可能性を失はしめた。其故に余は再び勞力と物資の生産的利用に言及せざるを得ない。諸外國に於て我々の商品は希望されて居ない。然らば我々は別途の方法を講じて希望されぬ商品の生産を他の途に振り變へねばならぬ。茲に於てか失業者を救ふ爲に自動車道

路の築造が役立つのである。國家が支出する自動車専用道路事業費の三五パーセントは此事業なかりせば、失業者救済の爲に當然無爲に捨て去るべき費用である。又二五乃至三〇パーセントは税其他の收入となりて直接或は間接に、財貨として國家に還元するのである。斯くて築造費の三五乃至四〇パーセントのみが現實に國家の負擔すべき金額である。少くとも此大部分の勘定は將來自動車道路の形に於て造られた新しい經濟原動力に刺戟されて國民の收入を關接に増加せしむるに貢獻する事多大であると確信する。斯く觀する時、自動車専用道路の築造は最善の言葉に於ける社會主義である。

物質的方面を離れ更に測知し得ざる心理的効果は失業者が就業に依つて及ぼす周圍への影響である。是は失業者の頹廢的氣分が悪い意味に於て醸成する影響と同様に善い意味に於いて同様の大きさを持つであらう。

此事業に於て支拂ふ勞働賃銀の比較的少い事は資金の潤澤ならざる爲であつて若し賃銀を充分に支拂へば臨時費を

巨額に増加せしめて國民は重税に堪えぬ爲起業困難となり失業者は結局就業の機會無きに至る道理である繰り返して言ふ自動車道路の築造は最も善意のソシヤリズムである。

事業着手により數十萬の勞働者を働かせ得ると云ふ重大な道路を認識する一面、最近迄鐵道に對して道路は競争の立場にあつた事は諸君も認めらるゝであらう。然し乍ら、今や道路對鐵道の問題は我獨逸國に於ては事實上消滅したのである。何故ならば理論上説明し得ぬとしても、之は我々が科學及技術を運用す事實が證明するであらう。鐵道の完成により從來の道路は重要性を失ふたのは事實である。然乍ら自動車専用道路は其重要性を再恢復せしめ得た。而て其重要程度は再自動車道路の隆盛に拍車をかけしめる。獨逸に於ては道路鐵道の兩運輸機關の間に何等の競争もあり得ない。兩者は互に輔け合ふ有機的の關聯を持って居る。此兩者の共存共榮の事實は將來とても依然として變化せぬであらう。例へば鐵道が大量の市場品輸送に關して有利である事は將來と雖變り無であらうし、他の貨客の輸送は自動車

専用道路の完備により一日の長を生むかも知れぬ。自動車輸送が少量の荷物の輸送に適する事は時間の拘束を受けぬ事と、地方的狀況に應じ個々の取扱が可能であると言ふ特徴があるからである。自動車運搬に於ては貨物を一箇所に集積する迄待つ必要がない事、最短距離の道路を利用し得る事、軌條の關係不要なる事、等は時間を節約して最大の利益を齎らし得る性能がある。特に貯藏及船積換の不要となる利益は大きい。他方に於て大量の輸送には軌條による方が運賃が低廉であり且霧雪等天候の影響を蒙る場合が自動車より軽い。兩輸送機關の併用方法は載荷自動車又は自動車上に取付けらるゝ運搬容器が軌條により輸送せられ、又貨車積の貨物は自動車により直ちに目的地へ運び得る方法も講ぜられる。自動車が最大速度を出す時は其速度と比例してタイヤの磨損が激しい爲斯様な大速度で走る事は經濟上避けなければならぬ。其故自動車道路の路線は小曲線、都市其他聚落地、他の路線との平面交叉、等總て速度を減少せしむる原因を忌避し、平均速度を可及的大ならしめ、



經濟的に不利なる最大速度を用ひない様、選定する事が必要である。其結果としてブレーキを使用する事の不要となる利益は數字で示し得ないけれども莫大なものであらう。依て國の富が増加するのみならず、危険率が減少する。斯くの如く我自動車道路の備へて居る種々利益は此道路をして一躍獨逸の全道路築造計畫の第一義的重要性を有せしめ且其特異性は世界各國の注目の焦點とならんとして居る。

獨逸の自動車専用道路は第一に獨逸の近代道路と云ひ得る一九三三年の五月一日、我等の首領ヒツトラ―總理は、我々は茲に、一つの計畫を實行する決心を有して居る是は計畫の儘で後繼者に引繼ぐ考へはない——道路の築造、即是である。我々は總ての障礙を排して大規模に仕事に着手しやう。

と演説して居る。此言葉を感じて居る人々は今我々が如何に大規模に事業を起したかに思ひ當るであらう。私は諸君に我々が獨逸の道路を如何に見るか、又自動車専用道路が如何なる意義を持つかを御紹介し得た積りである。會議

の進行に連れて其道の専門家と會合せられ興味深き個々の問題を討議せられたい。私は専門家でないから個々の問題に就いて是以上の詳述を避けたい。

私は獨逸の統率者が如何に諸君の仕事に興味を持つて居るか指摘するに努力して居る。而して私は第七回萬國道路會議が諸君の専門の問題に就て深い關心を持つて居る我獨逸國で開かれた事を喜び其事實を知つて頂ける機會を得た事を悦ぶ。私は是以上世界各國を横切る大道路が相互に組織せられ諒解せられる事の必要なるを贅言する必要があるまい。我等獨逸同胞は大なる自動車道路が各國の旅客に利用せられ我々の國家、國民及其意志を知得せられん事を希望する。更に隣國との連絡の大動脈が結ばるれば結ばれる程、國際的の大道及常時の交通は更に利益を受け、國際的の利便に資する處が大きく相互の信頼、敬愛は増加する事であらう。然らば進んでは止しき判斷が我々國民に下され、我々の平和への憧憬及名譽と機會均等への主張が是認せられるであらう。即是等の外客が如何に我々獨逸人が外國人

の個性を尊重し其の國民性を尊重するかを是認すると同程度に、我等の希望！ 主張をも是認せらるべきであらう。

斯くの如き相互尊重の基調に於てこそ政治的並に經濟的關係を親善ならしめ得ると信ずる。此考は我等の首領が自動車道路を計畫した一つの理由である。猶更に是こそ我等の首領及同志が且て再三力説せる平和と協力の熱烈なる希望の實現である事を諒承されたい。我々は熱意を以て此萬國道路會議が更に〳〵全世界の平和への待望に貢獻せられん事を望み、殊に創設二十五年の記念大會が其誕生地である佛蘭西で開かれず、我獨逸國で開かれた事に着目せられたい。是こそ獨佛兩國民相互の善き諒解に基くものであつて、其兩國家の恒久の平和こそ世界の繁榮に著しい影響があるのである。獨逸政府及國民は此會議が諸君に有益なものである事を切望する。我々は獨逸で得られた技術及科學の經驗及其結果が他の諸國に役立つ事恰も我々の専門家が他の諸國から學ぶ處があつたと同様な効果ある事を祈る。

斯くの如き意志と知識の交換こそ各會員、諸國の利益で

あり、精神的並に物質的價值が同様の基調に於て國民間に再建せられん事を切望する。

以上は私が全世界の國民へ御傳へすべき言葉である。願くは此會議の業績が成功に輝かん事を。

今回の道路會議の内容の一である國內視察旅行は九日から十八日迄十日間に亘り、ミュンヘンを起點とし、ベルリンを終點として五班に分れて行はれた。私は其第五班を選び、獨、塊、瑞三國境附近より、ライン河の上流に沿ひ、北行し、バーデン地方、スツツトガルト、ハイデルベルヒ、フランクフルト・アム・マイン、ウイースバーデン、カツセルを経て、自動車で一千五百軒の旅行を終えベルリンに歸着した。會員中特に數十名を限り、コンスタンス湖畔、フリードリツヒスハーフェンよりフランクフルト迄ツエツペリン飛行船に塔乗の機會を與へられ、空より自動車専用道路を視察し得た事を喜んで居る。然し此項も餘り長くなつたから後便に譲る。(昭和九年九月末 伯林にて)